

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は5月下旬に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



議員BOOK
(各議員の過去の一般質問や
会議録をご覧いただけます)

福生市教育ビジョン2025-2029について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 夢のある市立学校の実現に向けた検討という観点から令和6年度と令和7年度の取り組みを伺う。

教育長 令和6年度は、「ふっさの学校 夢・未来プロジェクト」（福生市立学校再編基本構想、ランドデザイン作成を目的に企画財政部と教育部職員で構成した庁内のプ

ロジェクトチーム）を全15回開催し、本市が目指す夢のある小・中学校の教育課程や学校施設について研究、協議を深め、東京都の先進的な学校4校を視察した。令和7年度は、令和6年度の検討結果を踏まえ、新たに「福生市立学校在り方検討委員会」を設置する。委員には学校教育、

学校施設の設計、建築に関する有識者、市立学校の代表校長やPTA関係者、町会長協議会の代表者、コミュニティ・スクール委員会委員などを予定している。この委員会を通じ、夢のある市立学校の実現のため、福生市立学校再編基本構想・基本計画の策定に向けて取り組んでいく。



▲先進的な学校の視察の様子

返礼品付きふるさと納税について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 令和7年度から福生市でも返礼品付きふるさと納税が実施されるが、その効果やどのような返礼品を想定しているのか、また、寄附金の活用方法についても伺う。

市長 期待される効果は、市の魅力の向上、地域内経済の活性化、税外収入の確保の3つで、返礼品は、

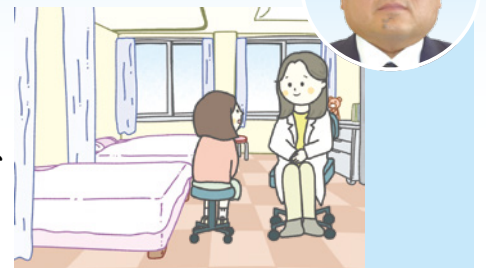
市の特産品の地酒やハム、各種観光施設やイベントでの体験などを考えている。寄附金は、ふるさと人づくりまちづくり基金に積み立てた後、寄附者の意向に沿う事業に活用する。

配慮を要する児童・生徒への支援について

質問 学校における児童・生徒の

居場所についての現状を伺う。

教育長 児童・生徒のため、所属する学級ではない場所で学習ができるよう校内別室の設置を小・中学校全校で実施している。校内別室では、学習意欲を引き出すことや悩みや不安を聴くなど、教員や支援員が丁寧な対応を行っている。



福生市の下水道管理について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 福生市内の下水道管の老朽化対策と道路陥没を防ぐための点検や補修の実施状況を伺う。

市長 福生市下水道ストックマネジメント計画等に基づき、腐食等のリスクが高い污水管渠から点検、調査、改築更新を進め、下水道施設の維持管理を実施。また、道路パトロ

ールや道路通報システムを活用し損傷及び異常箇所の把握に努め、路面下空洞調査を5年ごとに実施し、必要に応じて補修工事を実施し、重大事故の未然防止に努めている。

サイバー攻撃の対応について

質問 サイバー攻撃に対する市の具体的なセキュリティ対策を伺う。

市長 庁内で利用している業務システムをインターネット環境から分離することにより、サイバー攻撃からのリスク低減を図っている。この他、職員研修の実施、インターネット環境の常時監視、メールの無害化やウェブサイトのフィルタリングを行う等の対策を実施している。



▲路面下空洞調査の様子

障害者の就労支援等の取組について



正和会
仲間 正司 議員



質問 福生市における障害者の就労支援についての取り組みを伺う。

市長 市では、障害者の方の就労支援を社会福祉協議会へ委託し、福生市障害者自立生活支援センターすてっぷにて、市内在住の15歳以上で就労意欲のある身体・知的・精神障害のある方及びご家族を対象に相談

支援事業や就労支援事業を行っている。相談支援事業では、就労に関する相談、福祉サービスの利用等や日常生活に関する相談支援を実施し、就労支援事業では、職業準備支援のほか、ハローワークや企業面接等への同行、就労後の職場定着など、障害者の方が安心して働き続けるため

の取り組みを実施している。また、福生市地域自立支援協議会の「しごと部会」では、市及び各事業所が連携し、障害者の方の就労の実現や生活の充実につながるよう検討を進めている。今後も、就労を希望する障害者の方が1人でも多く就職できるよう支援を継続していく。



上下水道の管理等について



公明党
原田 剛 議員



質問 埼玉県八潮市での事故を受け、下水道管の点検状況や緊急点検などの考え方について伺う。

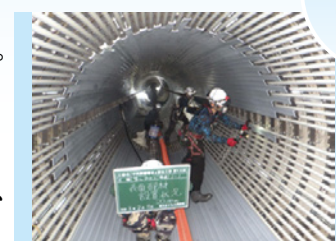
市長 福生市下水道ストックマネジメント計画等に基づき、リスクの高い污水管渠から点検等を実施。ストックマネジメント事業では、下水道施設をリスク評価により優先順位

を付けたうえ、市内を7つのエリアに分け、1年ごとに①点検②調査③修繕・改築計画④実施設計⑤修繕・改築工事の5工程を各エリアで繰り返し実施。このほか管渠の定期清掃等で状況把握に努めているため、事故に起因する緊急点検の予定はない。

安全・安心の確保について

質問 都で防犯カメラ等購入費助成が開始されるが本市の実施予定は。

市長 住宅用防犯カメラなどの防犯機器購入・設置にかかる費用助成を令和7年5月から実施予定。都の補助上限額に市が1万円を上乗せし、3万円を上限に助成する。本事業の予算は、今定例会に上程している。



▲下水管渠内作業の様子